

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約5年間（2015年6月26日～2020年6月17日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」（以下「アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドの受益証券への投資を通じて、米国の高配当株式に投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ※米国の高配当株式への投資にあたっては、米国の高配当株式指数を対象としたETFを活用します。 ②当ファンドは、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドでは、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。また、円に対するブラジル・リアルのコール・オプションの売りを行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第30期	（決算日	2018年1月17日）
第31期	（決算日	2018年2月19日）
第32期	（決算日	2018年3月19日）
第33期	（決算日	2018年4月17日）
第34期	（決算日	2018年5月17日）
第35期	（決算日	2018年6月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）」は、このたび、第35期の決算を行ないました。

ここに、第30期～第35期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額				公社債 組入比率	投資信託 資産比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込	み 金	期騰 落			
	円	円		%	%	%	百万円
6期末（2016年1月18日）	6,955	180	△	9.0	0.1	91.9	120
7期末（2016年2月17日）	6,966	180		2.7	0.1	98.6	112
8期末（2016年3月17日）	7,436	180		9.3	0.0	98.2	121
9期末（2016年4月18日）	7,646	180		5.2	0.0	98.5	125
10期末（2016年5月17日）	7,732	180		3.5	0.0	98.9	135
11期末（2016年6月17日）	7,515	180	△	0.5	0.1	97.9	138
12期末（2016年7月19日）	8,088	180		10.0	0.0	98.8	172
13期末（2016年8月17日）	7,840	180	△	0.8	0.0	98.7	193
14期末（2016年9月20日）	7,515	180	△	1.8	0.0	96.5	237
15期末（2016年10月17日）	7,608	180		3.6	0.0	84.2	584
16期末（2016年11月17日）	7,537	180		1.4	0.0	92.6	942
17期末（2016年12月19日）	8,059	180		9.3	0.0	89.5	1,903
18期末（2017年1月17日）	8,065	180		2.3	0.0	91.1	2,790
19期末（2017年2月17日）	8,260	180		4.6	0.0	94.9	3,917
20期末（2017年3月17日）	8,068	180	△	0.1	0.0	96.9	4,275
21期末（2017年4月17日）	7,598	180	△	3.6	0.0	97.6	3,878
22期末（2017年5月17日）	7,763	180		4.5	0.0	97.8	3,949
23期末（2017年6月19日）	7,237	180	△	4.5	0.0	97.8	3,722
24期末（2017年7月18日）	7,188	180		1.8	—	99.2	3,586
25期末（2017年8月17日）	7,011	180		0.0	—	98.1	3,346
26期末（2017年9月19日）	7,022	180		2.7	—	98.8	3,138
27期末（2017年10月17日）	6,958	180		1.7	—	97.1	3,044
28期末（2017年11月17日）	6,687	180	△	1.3	—	98.1	2,866
29期末（2017年12月18日）	6,640	180		2.0	—	95.9	2,827
30期末（2018年1月17日）	6,652	120		2.0	—	96.0	2,801
31期末（2018年2月19日）	6,212	120	△	4.8	—	98.7	2,408
32期末（2018年3月19日）	6,044	120	△	0.8	—	98.7	2,296
33期末（2018年4月17日）	5,804	120	△	2.0	—	98.6	2,171
34期末（2018年5月17日）	5,539	120	△	2.5	—	98.7	2,056
35期末（2018年6月18日）	5,400	120	△	0.3	—	98.5	1,874

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

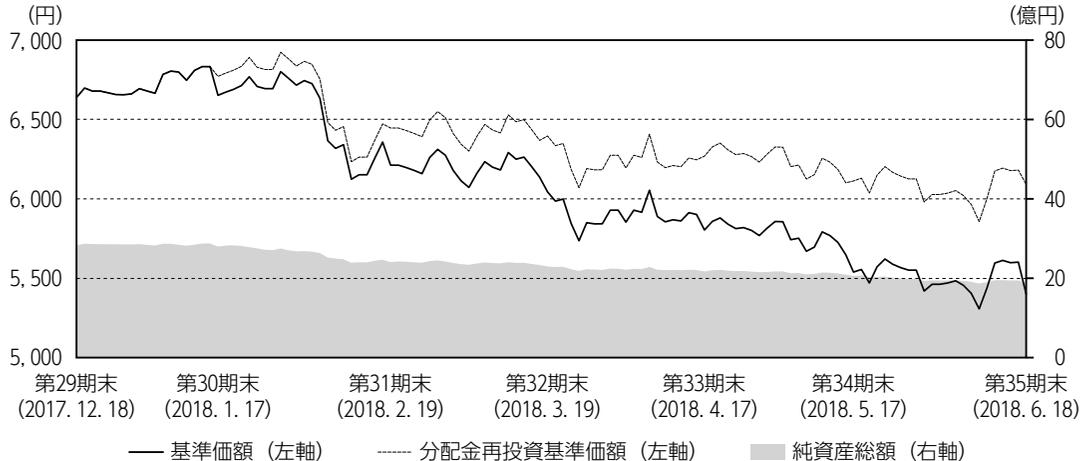
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第30期首：6,640円

第35期末：5,400円（既払分配金720円）

騰落率：△8.3%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド（以下「アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド」といいます。）の下落が要因となり、基準価額は下落しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

については、米国の株式に投資し、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行なうとともに、株式ならびに通貨（円に対するブラジル・レアル）のカバードコール戦略を構築した結果、株式が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与しましたが、レアルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。オプション取引については、株式のオプション、通貨のオプションともにプラスに寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第30期	(期首) 2017年12月18日	6,640	—	—	95.9
	12月末	6,679	0.6	—	98.4
	(期末) 2018年1月17日	6,772	2.0	—	96.0
第31期	(期首) 2018年1月17日	6,652	—	—	96.0
	1月末	6,716	1.0	—	98.2
	(期末) 2018年2月19日	6,332	△ 4.8	—	98.7
第32期	(期首) 2018年2月19日	6,212	—	—	98.7
	2月末	6,275	1.0	0.0	99.2
	(期末) 2018年3月19日	6,164	△ 0.8	—	98.7
第33期	(期首) 2018年3月19日	6,044	—	—	98.7
	3月末	5,929	△ 1.9	—	99.2
	(期末) 2018年4月17日	5,924	△ 2.0	—	98.6
第34期	(期首) 2018年4月17日	5,804	—	—	98.6
	4月末	5,816	0.2	—	99.5
	(期末) 2018年5月17日	5,659	△ 2.5	—	98.7
第35期	(期首) 2018年5月17日	5,539	—	—	98.7
	5月末	5,462	△ 1.4	—	98.9
	(期末) 2018年6月18日	5,520	△ 0.3	—	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 12. 19 ~ 2018. 6. 18)

■ 米国株式市況

i シェアーズ好配当株式 E T F（配当再投資）は米ドルベースで上昇しました。第30期首より、良好な米国マクロ経済指標や、法人税減税などを盛り込んだ米国税制改革法への期待などから上昇基調でスタートしましたが、2018年2月初旬の米国雇用統計の上振れを受けて米国金利が急上昇する中、大きく下落しました。2月中旬から3月中旬にかけて株価はやや値を戻したものの、3月下旬に米国トランプ政権が中国に対する制裁関税措置を表明したことから、米中貿易摩擦への懸念が高まり、株価は再び下落しました。4月から第35期末にかけては、原油価格の上昇や北朝鮮情勢をめぐる警戒感の後退などを背景に、株価はおおむね上昇基調で推移しました。

■ 為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。第30期首から2018年1月にかけては方向感のない動きとなりましたが、2月に入ると、市場参加者にリスク回避の動きが広がる中、レアルも下落しました。3月以降も、ブラジル中央銀行による政策金利の引き下げがレアル相場の重しとなったほか、秋に控えたブラジル大統領選挙に対する先行き不透明感やブラジル国内経済の成長見通しに対する懸念などが、レアル相場のマイナス要因となりました。5月には、トラック運転手や石油業界の労働者による大規模なストライキなどを受けて、一連の騒動でブラジル経済が打撃を受けるのではないかと懸念から、下落幅を広げました。

■ 短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを1.25~1.50%から1.75~2.00%に引き上げました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を7.00%から6.50%に引き下げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**■ 当ファンド**

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数（Dow Jones U.S. Select Dividend Index）を対象としたETFを活用し、米国の高配当株式への投資を行ないます。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプションの売りを行ない、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

（2017. 12. 19 ~ 2018. 6. 18）

■当ファンド

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETFを活用し、米国の高配当株式に投資を行ないました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないました。投資対象とするETFにかかるコール・オプションの売りを行ない、株式カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

第30期から第35期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ120円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	2017年12月19日 ～2018年1月17日	2018年1月18日 ～2018年2月19日	2018年2月20日 ～2018年3月19日	2018年3月20日 ～2018年4月17日	2018年4月18日 ～2018年5月17日	2018年5月18日 ～2018年6月18日
当期分配金（税込み）（円）	120	120	120	120	120	120
対基準価額比率（％）	1.77	1.90	1.95	2.03	2.12	2.17
当期の収益（円）	120	120	92	86	85	93
当期の収益以外（円）	—	—	27	33	34	26
翌期繰越分配対象額（円）	4,555	4,675	4,648	4,615	4,581	4,554

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
(a) 経費控除後の配当等収益	213.25円	239.36円	92.83円	86.34円	85.42円	93.13円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	4,254.87	4,260.32	4,265.51	4,268.80	4,275.08	4,278.35
(d) 分配準備積立金	207.39	296.04	410.54	380.23	341.15	303.39
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	4,675.51	4,795.73	4,768.89	4,735.39	4,701.65	4,674.88
(f) 分配金	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	4,555.51	4,675.73	4,648.89	4,615.39	4,581.65	4,554.88

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETFを活用し、米国の高配当株式への投資を行ないます。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプションの売りを行ない、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・リアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第30期～第35期 (2017.12.19～2018.6.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	37円	0.604%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,102円です。
（投信会社）	(13)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(23)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	6	0.100	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(6)	(0.100)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	43	0.708	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年12月19日から2018年6月18日まで)

決算期	第30期～第35期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	13,678.277	445,405	25,370.17	792,615

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年12月19日から2018年6月18日まで)

第30期～第35期							
買付				売付			
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND (ケイマン諸島)	3,126.674	110,000	35	DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND (ケイマン諸島)	25,370.17	792,615	31

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期間（第30期～第35期）中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

第30期首保有額	当作成期間中設定額	当作成期間中解約額	第35期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第35期末		
	□数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND	65,606.275	1,845,307	98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第29期末	第35期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年6月18日現在

項 目	第 35 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	1,845,307	96.0
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0.0
コール・ローン等、その他	76,126	4.0
投資信託財産総額	1,921,594	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年1月17日)、(2018年2月19日)、(2018年3月19日)、(2018年4月17日)、(2018年5月17日)、(2018年6月18日) 現在

項 目	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末	第35期末
(A) 資産	2,863,736,509円	2,475,241,855円	2,352,851,052円	2,232,423,348円	2,109,882,615円	1,921,594,136円
コール・ローン等	174,580,709	98,151,609	86,809,478	90,331,501	79,166,202	76,126,604
投資信託受益証券 (評価額)	2,688,995,943	2,376,930,405	2,265,881,733	2,141,932,022	2,030,556,588	1,845,307,723
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド (評価額)	159,857	159,841	159,841	159,825	159,825	159,809
(B) 負債	62,422,404	66,859,823	56,291,735	61,163,291	53,486,615	47,361,602
未払収益分配金	50,536,251	46,521,766	45,597,820	44,895,461	44,551,935	41,647,658
未払解約金	9,018,685	17,421,554	8,419,909	14,041,320	6,697,008	3,521,582
未払信託報酬	2,848,496	2,878,361	2,220,822	2,158,998	2,155,182	2,095,886
その他未払費用	18,972	38,142	53,184	67,512	82,490	96,476
(C) 純資産総額 (A - B)	2,801,314,105	2,408,382,032	2,296,559,317	2,171,260,057	2,056,396,000	1,874,232,534
元本	4,211,354,260	3,876,813,884	3,799,818,409	3,741,288,474	3,712,661,286	3,470,638,233
次期繰越損益金	△ 1,410,040,155	△ 1,468,431,852	△ 1,503,259,092	△ 1,570,028,417	△ 1,656,265,286	△ 1,596,405,699
(D) 受益権総口数	4,211,354,260口	3,876,813,884口	3,799,818,409口	3,741,288,474口	3,712,661,286口	3,470,638,233口
1万口当り基準価額 (C/D)	6,652円	6,212円	6,044円	5,804円	5,539円	5,400円

* 第29期末における元本額は4,258,216,869円、当作成期間 (第30期~第35期) 中における追加設定元本額は419,294,647円、同解約元本額は1,206,873,283円です。

* 第35期末の計算口数当りの純資産額は5,400円です。

* 第35期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,596,405,699円です。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

■損益の状況

第30期	自2017年12月19日	至2018年1月17日	第32期	自2018年2月20日	至2018年3月19日	第34期	自2018年4月18日	至2018年5月17日
第31期	自2018年1月18日	至2018年2月19日	第33期	自2018年3月20日	至2018年4月17日	第35期	自2018年5月18日	至2018年6月18日
項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期	第34期	第35期
(A) 配当等収益	92,675,455円	95,694,380円	37,509,796円	34,479,691円	33,887,266円	34,435,402円		
受取配当金	92,679,636	95,697,582	37,512,341	34,481,434	33,887,993	34,436,301		
受取利息	43	80	8	29	5	25		
支払利息	△ 4,224	△ 3,282	△ 2,553	△ 1,772	△ 732	△ 924		
(B) 有価証券売買損益	△ 35,840,080	△ 216,319,281	△ 53,651,327	△ 77,119,513	△ 85,085,896	△ 38,743,472		
売買益	562,268	7,468,263	863,619	1,771,992	537,198	2,294,998		
売買損	△ 36,402,348	△ 223,787,544	△ 54,514,946	△ 78,891,505	△ 85,623,094	△ 41,038,470		
(C) 信託報酬等	△ 2,867,468	△ 2,897,531	△ 2,235,864	△ 2,173,808	△ 2,171,221	△ 2,112,270		
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	53,967,907	△ 123,522,432	△ 18,377,395	△ 44,813,630	△ 53,369,851	△ 6,420,340		
(E) 前期繰越損益金	△ 475,773,914	△ 428,170,480	△ 579,470,475	△ 628,343,996	△ 701,384,901	△ 739,450,760		
(F) 追加信託差損益金	△ 937,697,897	△ 870,217,174	△ 859,813,402	△ 851,975,330	△ 856,958,599	△ 808,886,941		
(配当等相当額)	(1,791,878,085)	(1,651,646,857)	(1,620,819,440)	(1,597,084,843)	(1,587,192,819)	(1,484,863,217)		
(売買損益相当額)	(△ 2,729,575,982)	(△ 2,521,864,031)	(△ 2,480,632,842)	(△ 2,449,060,173)	(△ 2,444,151,418)	(△ 2,293,750,158)		
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,359,503,904	△ 1,421,910,086	△ 1,457,661,272	△ 1,525,132,956	△ 1,611,713,351	△ 1,554,758,041		
(H) 収益分配金	△ 50,536,251	△ 46,521,766	△ 45,597,820	△ 44,895,461	△ 44,551,935	△ 41,647,658		
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,410,040,155	△ 1,468,431,852	△ 1,503,259,092	△ 1,570,028,417	△ 1,656,265,286	△ 1,596,405,699		
追加信託差損益金	△ 937,697,897	△ 870,217,174	△ 859,813,402	△ 851,975,330	△ 856,958,599	△ 808,886,941		
(配当等相当額)	(1,791,878,085)	(1,651,646,857)	(1,620,819,440)	(1,597,084,843)	(1,587,192,819)	(1,484,863,217)		
(売買損益相当額)	(△ 2,729,575,982)	(△ 2,521,864,031)	(△ 2,480,632,842)	(△ 2,449,060,173)	(△ 2,444,151,418)	(△ 2,293,750,158)		
分配準備積立金	126,612,052	161,046,818	145,676,753	129,668,130	113,822,247	95,974,162		
繰越損益金	△ 598,954,310	△ 759,261,496	△ 789,122,443	△ 847,721,217	△ 913,128,934	△ 883,492,920		

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
(a) 経費控除後の配当等収益	89,807,982円	92,796,844円	35,273,926円	32,305,878円	31,716,043円	32,323,132円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,791,878,085	1,651,646,857	1,620,819,440	1,597,084,843	1,587,192,819	1,484,863,217
(d) 分配準備積立金	87,340,321	114,771,740	156,000,647	142,257,713	126,658,139	105,298,688
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,969,026,388	1,859,215,441	1,812,094,013	1,771,648,434	1,745,567,001	1,622,485,037
(f) 分配金	50,536,251	46,521,766	45,597,820	44,895,461	44,551,935	41,647,658
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,918,490,137	1,812,693,675	1,766,496,193	1,726,752,973	1,701,015,066	1,580,837,379
(h) 受益権総口数	4,211,354,260口	3,876,813,884口	3,799,818,409口	3,741,288,474口	3,712,661,286口	3,470,638,233口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
		120円	120円	120円	120円	120円
(単 価)	(6, 652円)	(6, 212円)	(6, 044円)	(5, 804円)	(5, 539円)	(5, 400円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2018年6月18日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

財政状態計算書

2017年9月30日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	¥	3,064,901,278
資産合計		<u>3,064,901,278</u>

負債

負債合計		<u>—</u>
------	--	----------

資本（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産）

受益証券元本		3,914,014,719
繰越損失		<u>(849,113,441)</u>
資本合計		<u>3,064,901,278</u>
資本・負債合計	¥	<u><u>3,064,901,278</u></u>

包括利益計算書

2017年9月30日に終了した年度

収益

手数料収入	1,130,639,637
金融資産および負債に係る純実現利益（損益通算後の評価額）	236,973,987
金融資産および負債に係る評価損の純変動（損益通算後の評価額）	(984,590,735)
収益合計	<u>383,022,889</u>

費用

報酬支払代行人手数料	10,077,559
費用合計	<u>10,077,559</u>

営業利益

372,945,330

包括利益合計（運用による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増加）

¥ 372,945,330

2017年9月30日現在の担保付スワップの残高

ストラテジー	U. S. 高配当株式クワトロ戦略
満期日	2021年12月30日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
簿価	4,145,591,815 円
評価額	3,064,901,278 円
評価損	(1,080,690,537) 円

(注) 担保付スワップへの投資を通じて、米国の高配当株式へ投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第35期の決算日（2018年6月18日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を15ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年12月19日から2018年6月18日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
723 国庫短期証券 2018/3/5	千円 400,003		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年6月18日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第9期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの第9期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

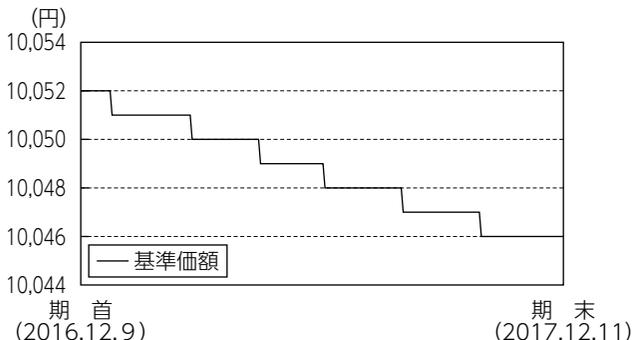
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額 円	公 社 債 率	
		騰 落 率 %	組 入 比 率 %
(期首)2016年12月9日	10,052	-	28.1
12月末	10,052	0.0	-
2017年1月末	10,051	△0.0	31.1
2月末	10,051	△0.0	25.0
3月末	10,050	△0.0	-
4月末	10,049	△0.0	35.2
5月末	10,049	△0.0	5.5
6月末	10,048	△0.0	0.5
7月末	10,048	△0.0	0.1
8月末	10,047	△0.0	-
9月末	10,047	△0.0	-
10月末	10,046	△0.1	-
11月末	10,046	△0.1	-
(期末)2017年12月11日	10,046	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,052円 期末：10,046円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量の・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いません。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額 千円	売 付 額 千円

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額 千円	銘 柄	金 額 千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	46,711,084		
657 国庫短期証券 2017/4/17	31,380,607		
659 国庫短期証券 2017/4/24	30,090,880		
669 国庫短期証券 2017/6/12	29,100,894		
652 国庫短期証券 2017/3/27	27,220,217		
642 国庫短期証券 2017/2/6	25,890,391		
644 国庫短期証券 2017/5/12	22,760,976		
651 国庫短期証券 2017/3/21	21,610,540		
660 国庫短期証券 2017/5/1	15,890,292		
638 国庫短期証券 2017/1/16	12,400,099		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	127,401,750	100.0
投資信託財産総額	127,401,750	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	127,401,750,032円
コール・ローン等	127,401,750,032
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	127,401,750,032
元本	126,824,072,530
次期繰越損益金	577,677,502
(D) 受益権総口数	126,824,072,530口
1万口当り基準価額(C / D)	10,046円

* 期末における元本額は103,766,716,434円、当期中における追加設定元本額は73,674,203,533円、同解約元本額は50,616,847,437円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・ブルファンド(適格機関投資家専用) 4,467,705,309円、ダイワ米ドル・ベアファンド(適格機関投資家専用) 16,890,565,266円、ダイワ・マネーポートフォリオ(FOFs用)(適格機関投資家専用) 69,673円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07(為替ヘッジあり) 995円、通貨選択型米国リート・αクワトロ(毎月分配型) 159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ(毎月分配型) 159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10(為替ヘッジあり) 995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10(為替ヘッジあり) II 995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12(為替ヘッジあり) 995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-02(為替ヘッジあり/限定追加型) 995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-08(為替ヘッジあり/限定追加型) 995円、日本株カムイA1戦略ファンド59,719,320円、ダイワJPX日経400ベア・ファンド(適格機関投資家専用) 3,285,486,762円、ダイワユーロベア・ファンド(2倍、非リバランス型)(適格機関投資家専用) 2,297,118,764円、ダイワ米ドルベア・ファンド(2倍、非リバランス型)(適格機関投資家専用) 35,118,078,983円、ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド9,393,201円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド(通貨選択型) 日本円・コース(毎月分配型) 998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド(通貨選択型) ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド(通貨選択型) アジア通貨・コース(毎月分配型) 998円、ダイワTOPIXベア・ファンド(適格機関投資家専用) 64,694,720,539円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α(毎月分配型) 9,949円、ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USトライアングル - 703,716円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 - 173,802円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,046円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 75,315,912円
受取利息	△ 9,781,131
支払利息	△ 65,534,781
(B) 有価証券売買損益	△ 15,183
売買損	△ 15,183
(C) その他費用	△ 889,297
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 76,220,392
(E) 前期繰越損益金	539,015,307
(F) 解約差損益金	△ 243,233,880
(G) 追加信託差損益金	358,116,467
(H) 合計(D + E + F + G)	577,677,502
次期繰越損益金(H)	577,677,502

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。